

## 会議録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成23年度第4回定例会
開催日時	平成24年3月22日（木曜日）午後3時から5時まで
開催場所	田無公民館会議室
出席者	委員：小西委員、谷関委員、富川委員、吉田委員、服部委員、鈴木委員、大澤委員 事務局：西村副館長、吉野庶務係主査、星野主任、牧野主任
傍聴者	0名
議題	第1 小西先生による電子書籍についての講義
会議資料の名称	1 西東京市図書館協議会説明資料「電子書籍と図書館の可能性」 2 多摩地域図書館協議会ネットワークづくり（簡単なまとめ） 3 小学生の本のリスト「であい」 4 中学生の本のリスト「道しるべ」
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録    発言者の発言内容ごとの要点記録    会議内容の要点記録
会議内容	
<p>会長： 図書館協議会第4回定例会を始めさせていただきます。その前に資料の確認を行いたいと思います。 （確認後） 小西先生の講義に入りますと、その関連質問になると思われるので、現時点で確認事項等ありませんか。</p> <p>委員： 「多摩地域図書館協議会ネットワークづくり」の説明</p> <p>委員： 「電子書籍と図書館の可能性」について小西委員による講義</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電子書籍とは何か</li> <li>2. 電子書籍の歴史</li> <li>3. 電子書籍の現在</li> <li>4. 電子書籍に関する国・自治体の政策・動向</li> <li>5. 公立図書館と電子書籍</li> </ol>	

6. 大学図書館と電子書籍
7. 電子書籍の光と影
8. 電子書籍にどう立ち向かうか

○委員：

大変理解しやすい講義ありがとうございました。

○会長：

先程の話の中で、図書館の有料化ということに関連して、図書館があるから書籍が売れないと言う話が以前ありましたね。

委員：

今でも、そのような話があります。しかし、図書館協会で実際に調査した結果、図書館が貸し出すことによって、出版社が損益を受けるかどうかシュミレーションしましたが、その実態はないと言う判断になっている。

委員：

しかし、まだ図書館に関してそのような考え方はある。

○委員：

図書館ができることにより本屋が潤うこともある。図書館と本屋の売り上げに関する社会調査を本来図書館が行うと良い。

委員：

電子書籍の市場は、図書館、本屋等に行かない人たちであり、基本的に図書館の利用層とは異なっている面がある。

問題は、今の電子書籍の状態を正確に把握した上で、今後、図書館が電子書籍と関係する部分の業務を行っていくことである。

○会長：

新年度になっておりませんので、正式な諮問を頂いていないので、今回は予習と言うことでレクチャーを受けました。本日は講義の後、自由質問に入ってしまいましたが、本日はこれで終了したいと思います。